

第 4 回笠周地域振興計画策定委員会

日時：平成 25 年 10 月 11 日（金）午後 1 時 30 分～

場所：笠置コミュニティセンター

1. 現地視察

市道笠置町 37 号線～寺洞林道～笠置山林道～旧グリーンピア恵那入口を現地視察。

2. 事務局より―基本計画・事業計画について 1 ページ 2 ページにより説明。

3. 意見交換

- 委員長 第 3 回までの会議の中で出た意見に対して、事務局から回答があった。そのことについてご意見を伺いたい。
- 委員 その前に確認事項がある。3 町合同事業と地域事業の関係で地域事業は次期総合計画でという説明があった。このことは当初の話とずれてきているのではないかと？ 3 町合同事業と地域事業の両方をお願いしたいが、地域事業ははずされたような形になっているがこの辺はどうか？
- 事務局 両方から出していただいているので、地域事業を 3 町合同事業とさせてもらった事業もある。全体事業費の中で全ての事業を計画の中に入れるのは難しい。そんな中で 3 町合同事業を優先に進めて行きたい。
- 委員 そうなると地域では、3 町合同事業と地域事業ということでまとめてきたので話しがちがってくる。
- 委員 地域事業として出した中で、現在の総合計画に入っていない事業もあるので心配なところもある。
- 事務局 3 町合同事業を中心とした振興計画としていくが、地域事業は、来年から次の総合計画の策定に入るので、各地域にも地域計画の策定を依頼する予定。そのなかで地域事業をお願いしたい。
- 委員長 地域計画については、28 年度からの総合計画に盛り込んだ形としたいとのことだがどうか。
- 委員 総合計画に入れるのなら地域事業の予算的措置は？ 恵南の過疎債の事業と整合性が取れてないので、地域事業を次期総合計画でというなら予算的措置まで考えて欲しい。
- 事務局 過疎債は 100% 充当である。笠周計画では過疎債は使えないが、同様な条件の地域であるのでそれに変わる措置として合併特例債を使ってやって行こうという主旨である。合併特例債は 100% 充当ではなく、また市全体として活用するものだが、3 町にこれを使っていこうというもので、財政計画と調整をしながらの予算措置となる。
- 委員 消防署北分署のような事業こそ 3 町合同事業ではないか？
- 事務局 3 町の皆さんが危機感を持っていることは十分理解しているが、この計画に具体的な表現をしていくのは難しい。
- 委員 代替案がもう少し具体的でないと町民に対して説明ができない。要望をもって出てダメでしたでは納得してもらえない。

■委員 笠置は、高齢化、過疎化が進んでいる。3町は過疎債の対象にならないが過疎債対象地域と同じような地域なので独自に振興計画を作るということだった。独自の計画とは何か。この振興計画が次期総合計画にどのように反映されるかのわかりやすい説明が必要。

■委員長 諮問を受け、地域の意見を出し、審議を重ね、主旨に沿っていままで委員会を進めてきた。市のほうで前回に具体的な計画内容を出してもらった。今は大きなところで議論されているが、具体的な内容について話しを進めて行きたい。

■基本計画について、提案どおり承認

■実施計画について

○テント村について・・・提案どおり承認

○アンテナショップについて・・・提案どおり承認

○五毛座について

■委員 歌舞伎保存会が中心となって活用し、特産品開発でも活用している。駐車場がないため県道に駐車している。駐車場候補地は、農振除外済みで所有者も承諾済み。トイレも出演者がお客の前を通って行かなければ使えない。教育委員会も外観をかまわなければ整備することが可能と言っている。よって、地域計画ではなく3町合同事業で要望したい。

■委員長 五毛座で定期的に上演すればお客も増える。そういった考えを持っている人もいる。

○親水公園・ポケットパークについて

■委員 目的は農産物を合同出荷する前段階の交互に連携を深めるための場である。そういった意味で面整備をお願いしたい。それに付随して飯地は公園がないので親水公園という形にして3町合同事業としていただきたい。

■委員 親水公園は、軽トラック市だけでなく人々が交流する場としても整備して欲しい。

■委員 最終的には東雲橋の道の駅に出せればいいが、いきなりは難しい。

○テント村にドコモの鉄塔設置について・・・提案どおり承認

○ふるさと活力活性化協力隊について

■委員 中野方では現在2年目で、まちづくりを担ってもらっており、協力隊の力は大きい。1年目は何もできないので2年目から本格的に動くことができる。地域の希望は延長ということになる。

■事務局 協力隊は、外から若い力が入り地域の活性化を図るというねらいもある。同じ人を延長した終身的な雇用はできない。導入後の3年間を支援するということでご理解願いたい。

○北分署について

■委員 飯地では本署から遠いので切実である。主観的に見るのではなく客観的に見るべ

きではないか。最初からダメですでは地域を軽視しているのではないか。代替案についても具体化が必要である。

■委員長 中野方・笠置ではどうか？

■委員 行財政改革審議会で議論するということは無いということではないか。だったらそれに代わる何らかの方法を示して欲しいと思う。中野方では地域で具体的な話しはできていない。

■委員 笠置町としての意見集約はできていない。ただ、地域懇談会では、包括支援センターの設置を提案していく。市の行政機関としての高齢者の見守りを要望していきたい。

■委員長 3町の意見は、北分署は必要。中野方・笠置は意見が分かれているがそれを踏まえて意見はないか。

■委員 いいか悪いかと聞かれれば北分署は作って欲しい。

■委員 例えば、ドクターヘリも夜は飛ばない。そういった観点からも必要である。

■委員 公平性の観点から見ても分署にある救急車及び人員を本部に配置すべきである。北分署をどうしても作れというのではなく、市全体の公平性から考えるべきである。分署に代わる救急体制を考えて欲しい。

■委員 緊急時にどうやって助けるかの視点で考えて欲しい。具体的な方法を示さなければいけない。

■委員 道路を整備するなどはっきりした対応が必要。また、笠周全体の災害時の避難所としての意味合いもあるのではないかと思う。

■委員 恵那市の消防体制はどういう体制か？

■事務局 行財政改革行動計画の中で市の消防体制は検討するとされており、消防署の中で検討を進めている。（行財政改革行動計画は、毎年進行状況を審議会に説明して意見をいただく作業をしている）今はここまでしか言うことはできない。

■委員 現状の体制で行くのであれば、笠周3町としては、分署に代わる救急体制を作ってもらいたい。過疎債に代わる事業ということであればこれを強く要望したい。

■事務局 ここに書いてあるような検討を進めていくことになるが、笠周3町だけでなく市全体としての消防体制ということになる。

■委員 住んで良かったと思えるまちに行きたい。

■委員長 保留にして、具体的な代替案を示す。

○林道の新設について

■委員 ボルダリングや生活道路でも利用するので、新設あるいは改良をして欲しい。県道恵那白川線災害時の迂回道路としても必要である。

■委員 ④から直線で新設しても急な道になり、使いづらいのではないか。

■委員 予算的なこともあり費用対効果を考えるべき。

■委員長 この件は保留として再度精査をして欲しい。

○なごみの家について

■委員 3000万円の根拠は？

■事務局 岩村の茅の宿の整備費を参考とした。

■委員 坂折棚田保存会と茅の宿では、事業の規模から比較はできない。今の棚田保存会の活動を維持して行こうとするのなら4000万円でも足りないのに3000万円ではとても無理。

■事務局 類似施設と比較して算出した。規模を小さくするなど3000万円で抑えて欲しい。

■委員 中野方の棚田ではなく、恵那市の棚田である。維持するにはある程度の施設が必要である。今の家を改修はできないので壊して作った方が安い。

■委員 休憩する施設は必要である。先日、コカコーラの活動で子どもが50人ほど来た。晴れたので良かったが、そんなに大きな施設は必要ないが雨が降っても対応できる施設は必要である。

■委員長 この件に関しても保留とする。次に各地域で話し合ったことを報告してもらいたい。

■笠置 道の駅構想について、検討委員会を立ち上げるための話し合いを行った。

■中野方 ①保育園跡地利用

課題は維持管理がしていけるか検討中。内容は、宅老所、学童保育、NPO事務所、資料館としたい。

②栗園

運搬用のレール、運搬車等細かなものを要望している。

■委員 地域事業はH28～の総合計画の地域計画に入れるという話だったが・・・

■事務局 保育園の活用については担当課と検討して行きたい。

■委員 地域事業をそれぞれ出してくれということで出したが、無しとなると何のために出したのかわからなくなる。総合計画にプラスして過疎債並みの事業ということではなかったか？

■事務局 総合計画に加えて3町の振興計画をまとめるため、3町合同事業と地域事業を出してもらったが、その中で3町合同事業を優先して作ることを示した。まとめたならそれだけでもかなりの事業費が必要となる。そこで地域事業は、総合計画の中で地域計画として作成するというでどうか。

■委員 金額がはっきり決まっていない中でどうなのかははっきりわからない。

■事務局 金額もある程度は積算してあるが、全部入れたら膨大な額になる。

■委員 そうなると主旨が変わってしまう。

■事務局 計画段階で全部を設計して積算することはできない。総合計画でもローリングをしているので、3町合同事業も同様である。

- 委員 話は違うがふるさと納税として目的別にいただいた場合は、その目的どおりに使うような仕組みにして欲しい。
- 事務局 現在も寄付金は、寄付者の意向に沿って指定された内容で活用しているし、指定してもらって構わない。
- 委員 地域要望についても概算予算を出して欲しい。現在は意見を出しただけで門前払いのような形なのでデータを出して説明が欲しい。
- 委員長 3町とも2本立てで出しており、3町合同事業が優先させることは理解している。
- 委員 飯中線は一番にやって欲しいがどうか。
- 事務局 飯中線は事業量・事業費もわからないので、県営一般農道として整備するため調査をして県と協議をして行きたい。
- 委員 過疎債と比べて5年間で20億程度なら問題ないような気がするが。
- 委員 新丸山バイパスに関連する道路整備計画は烏帽子岩より先の計画はない。よって飯中線の整備は飯地の人にとっては悲願である。今の見通しとして県営農道整備に乘れそうか？
- 事務局 見込みはわからないが、市としての事業規模を見極めたい。市としてできる範囲でしかできないのでそのために予備調査をして県と協議して行きたい。
- 委員 それはわかるが12月までに答申することになっている。
- 事務局 12月に答申をしていただき、策定委員会を推進委員会に変えて毎年進行管理をしていただきながら進めていきたい。
- 委員 笠周計画で上げた内容は事業費でいくらになり、総合計画で優先的にやりますというような担保してもらえればある意味納得できる。
- 事務局 3町合同事業でも担当課に無理を言ってある程度の金額を積算してもらっているので申し訳ないが全部の地域事業費までを算出するのは難しい。
- 委員 金額を出せばできるという話しとお金を出しても技術的に不可能なものある。そういう視点での見方も必要。
- 委員長 地域計画の中でも笠周の要望は優先させて欲しいが、まずは、3町合同計画を答申し、今後は実行を検討する委員会で進められるようにしていくことでどうか。
- 委員 総合計画の地域計画に位置付けるだけでなく、笠周計画に伴う地域課題はそこでこうしていくということを示して欲しい。アンケートも取った中なので笠周計画の中でうたうことが必要。
- 委員 総合計画は市全体に対してマトリックスで重要性、緊急性で決まっているが地域要望に対してのマトリックスはなく、地域要望は反映されない。
- 委員 地域要望を笠周計画でやるか総合計画でやるかをはっきり決めて欲しい。
- 事務局 策定委員会を推進委員会に変えて進行管理しながら進めていく。3町合同事業

のほかに地域要望も3町の進行管理として進めていく。

- 委員長 地域要望事業は枠以外に載っている。これは精査してあるか。
- 事務局 財源は別として精査はしてある。
- 委員 笠周計画と地域計画でやるという位置付けをして欲しい。
- 事務局 一度持ち帰り、検討する。
- 委員長 ソフト事業について
- 事務局 別紙提案事項を説明
- 委員 ソフト事業の予算はいらないのか？別にあるのか？例えば合同カレンダーのような場合。
- 事務局 方法は今後協議が必要だが予算は必要である。
- 委員 笠置の寺田石山線。2車線化はいいと思うが歩道は必要。実際、通学路として使っている。要検討の意味は？
- 事務局 歩道を無くし、カラー舗装等をするかを検討しなければいけないということ。
- 委員 これは2車線化にして歩道もつけるという意味。今の幅員で2車線にして歩道をなくすという意味ではない。張り出し歩道等技術的な検討をして欲しい。
- 事務局 持ち帰って再検討。
- 委員 笠周計画と総合計画は離れてもいいのか？
- 事務局 全てを取り込んだのが総合計画だが3町合同の振興計画は上乘せ分である。
- 委員 笠周地域振興計画なので、3町合同事業はいいがもう一つの地域事業はしっかりやれるかやれないかを出してもらわないと地域へ帰っても何とも言えない。
- 委員長 では今日出た意見をもう一度検討していただき、次回の会議を行いたい。次回の日程は？
- 委員 今日出た内容をよく詰めてもらい再度提案して欲しい。今日の内容では地域へ下ろすことはできない。
- 委員長 開催場所は、飯地の五毛座で行いたい。日程については地域懇談会も入ってくるのでその辺も考慮しながら調整していただきたい。

副委員長あいさつ

今日は詰めの段階で深く議論していただいた。次回には質問の回答を受けながら12月の答申にもっていききたい。次回もよろしくお願いしたい。